

巻 頭 言

天の摂理を成就する聖業

International High Way and God's Will

釜山水産大学校教授 高 冠 瑞



韓国の国際ハイウェイ研究会が発足して既に3年になります。この間、多くの会員の方々の御協力により、巨済島での6箇所のボーリング事業と、海洋探査のための従局地点の位置決定および測量事業も、迂余曲折の末に5月にはほぼ終了する予定です。海洋探査事業が終われば、韓国でも本格的なトンネル工事が開始されると考えられます。第4部会の事業も活発に進行しており、韓国と日本に続いて、第3回は中国の青島で海洋水産専門家会議を計画しており喜びを禁じ得ません。

“世界は一家族”ということはたやすいが、それを実行に移すことはとてもむづかしいものです。それは宗教や理念の次元を越え、或は個人主義を基とした民主主義までも超越して、父なる神を中心とした兄弟愛を中心としなければ成し遂げられることではありません。私たちはこのトンネルを建設することにより、世界をひとつにする兄弟愛を実践しているのです。それが国際ハイウェイの真の目的であれば、それは天の摂理を進める愛の事業をなしつつあるということです。これこそが共生、共栄、共義の道であり、人類平和を達成する具体的事業であります。世界のために自国をこえて世界を救済しなければならないという思想は、神中心の永遠かつ絶対的価値を基準にしなければ不可能です。文先生も“国家を超越してこそ真実の人間になる”と語られました。このような現象が現在、韓国で起こりつつあります。過去には互いに敵対視していた数千名の世界の若人たちが、自分の国を愛する以上に韓国を愛することで“世界は一家族”という理想を生活の中で見せてくれています。

最近、発表された2000年代の釜山直轄市の都市開発基本構想図をみると、影島の前面海域に新市街地が形成され、加徳地区には新国際空港が建設されることになっています。今後、巨済島付近の海沿いに建設される巨大な国際空港には、アメリカやヨーロッパから飛んできた宇宙往復船(The Space shuttle)が離着陸するようになり、その空港を起点にして道路網が形勢されることでしょう。そのときの韓日トンネルと国際ハイウェイの役割や重要性は、現在では想像することすらむづかしいほどのものです。本当に地球村は一日生活圈になり、第3の文化、第3の宗教が誕生するようになります。既にそのような徴候が現れ始めています。我々兄弟がこの事業にどれだけ情熱を傾けるかによって、世界平和実現の日が早くなるか遅くなるかが決定されるのです。

何よりも驚きかつ感謝したことは、文鮮明先生の予見力です。世界歴史を見抜く予言をされ、その予言を実践することにより、世界各地で驚異的な事件が続けて起こっています。今後も第2、第3の奇跡の事件が起こるものと信じています。

(1989.4. 訳責事務局)